



1書道実演は見る人も息をのむほど 2子どもたちの力作が並び、わが子の作品を探す 3美味しそうなのに誘われて、肉料理を提供する店に並ぶ家族連れ 4和太鼓の音色が会場全体を盛り上げてくれる



←地元産チーズをふんだんに使ったピザを頬張る

雨ニモマケズ 秋のまつりを楽しみ、味わい尽くす ～西那須野産業文化祭・畜産フェア～

10月14・15日、にしなすの運動公園を中心とした特設会場で産業文化祭が行われました。文化や芸術、福祉など100を超えるブースが出展し、多くの市民でにぎわいました。15日には今年からリニューアルした畜産フェアが同時開催。お店を何軒もはしごする人が多くみられ、各店の味を堪能。この日はあいにくの雨だったにもかかわらず、終了時間前に売り切れる店舗が相次ぎ、秋の味覚の祭典は大盛況のうちに幕を閉じました。



湧き出す湯の恵みに感謝 ～塩原温泉 古式湯まつり～

1200年以上の歴史をもつ塩原温泉郷には、150を超える源泉が湧いています。この温泉の恵みに感謝するため、9月24日に古式湯まつりが厳かに行われました。塩原温泉発祥の地である元湯温泉からお湯を汲み、塩原八幡宮に奉納。その後お湯は御神湯として、古の衣装に身を包んだ関係者たちによって市役所塩原庁舎から湯っ歩の里まで運ばれ、祭主から各地区の代表に分け与えられました。



認知症の理解を深めよう ～ランとも 栃木2017～

秋晴れとなった9月23日、RUN伴栃木2017が市内でも開催されました。「RUN伴」とは認知症の人と一緒にタスキをつなぐ体験を通じて、誰もが暮らしやすい地域づくりを推進する活動で、全国で行われています。この日も県内各地で同時開催され、本市でもオレンジ色のTシャツに身を包んだ38人のランナーが、ゴールの市役所西那須野庁舎を目指し、那珂川河畔公園を出発していきました。

■特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険特別会計	157億6,756万円	149億2,029万円	8億4,727万円
後期高齢者医療特別会計	9億8,231万円	9億6,042万円	2,189万円
介護保険特別会計	77億9,954万円	71億9,828万円	6億 126万円
下水道事業特別会計	30億 302万円	29億5,828万円	4,474万円
農業集落排水事業特別会計	1億1,582万円	9,994万円	1,588万円
温泉事業特別会計	7,175万円	5,288万円	1,887万円
墓地事業特別会計	668万円	382万円	286万円

■公営水道事業の決算状況

区分	収入	支出	差引
収益的収支(水を作って届けるための収入と支出)	28億3,273万円	24億7,491万円	3億5,782万円
資本的収支(施設の更新などのための収入と支出)	4億1,327万円	14億7,540万円	△10億6,213万円

■財産状況

公有財産						基金 ※特別会計を含む
土地	建物	山林など	無体財産権(商標権)	有価証券	出資による権利	
12,230,901㎡	402,935㎡	6,436,255㎡	1件	1,680万円	7億3,034万円	180億7,083万円

■市債・基金残高(一般会計)

※住民基本台帳人口：117,846人(平成29年3月31日現在)

市債	平成27年度末残高	平成28年度支出額	平成28年度借入額	平成28年度末残高	市民1人当たりの市債残高
	353億139万円	46億2,331万円	31億5,410万円	338億3,218万円	28万7,088円

基金	区分	財政調整基金	減債基金	特定目的基金	合計	市民1人当たりの基金残高
	残高	57億9,154万円	16億6,456万円	85億1,584万円	159億7,194万円	13万5,532円

■市の財政状況は？ ～財政の健全性に関する5つの指標～

指標	用語解説	H27	H28	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)	市の状況
実質赤字比率	一般会計などを対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する割合。	-	-	11.94%	20.0%	すべての会計で黒字のため該当なし
連結実質赤字比率	一般会計などに加えて特別会計や一部事務組合などの関連するすべての会計を対象とした実質赤字額の、標準財政規模に対する割合。	-	-	16.94%	30.0%	すべての会計で黒字のため該当なし
実質公債費比率	一般会計などが負担する公債費や公債費に準じるものなどの、標準財政規模に対する割合。	4.9%	4.1%	25.0%	35.0%	新規借入の抑制などにより前年度に比べてさらに向上
将来負担比率	一般会計などが将来負担する可能性のある実質的な負債額の、標準財政規模に対する割合。	-	-	350.0%		将来負担は発生していないため該当なし
資金不足比率	各公営企業会計の資金不足額の、事業規模に対する割合。	-	-	20.0%		資金不足は発生していないため該当なし

平成29年度上半期 財政状況報告

■予算の執行状況(一般会計・特別会計)

※9月議会までに議決を受けたもの

会計名	歳入・歳出現計 予算額	歳入		歳出		
		収入済額	収入率	支出済額	支出率	
一般会計	495億9,434万円	223億 102万円	44.4%	190億6,627万円	38.4%	
特別会計	国民健康保険	169億4,226万円	67億1,432万円	39.6%	63億6,686万円	37.6%
	後期高齢者医療	9億9,160万円	5億 996万円	51.4%	3億6,203万円	36.5%
	介護保険	86億5,018万円	40億7,698万円	47.1%	29億3,866万円	34.0%
	下水道事業	30億7,968万円	11億3,440万円	36.8%	10億2,830万円	33.4%
	農業集落排水事業	1億1,201万円	5,538万円	49.4%	4,507万円	40.2%
	温泉事業	6,659万円	4,428万円	66.5%	1,607万円	24.1%
	墓地事業	490万円	646万円	131.9%	113万円	23.1%

■公営水道事業の経理状況

区分	収入			支出		
	予算額	収入済額	収入率	予算額	支出済額	支出率
収益的収支	29億 34万円	14億1,158万円	48.7%	26億6,928万円	11億9,653万円	44.8%
資本的収支	7億3,188万円	0万円	0.0%	18億1,385万円	3億4,457万円	19.0%